

海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：工学部

学年：4年

留学先大学：ソウル国立大学

現在の学期：Fall Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	14:00-17:00 Design Portfolio
火	14:00-15:15 Advanced English Presentation
水	14:00-17:00 Design Thinking
木	14:00-15:15 Advanced English Presentation
金	
土・日	

履修科目や近況について（9月）

最初は学校に週に2回しか行かないつもりでしたが、9/1にオリエンテーションで初めてソウル大学を訪れた際に、大学内にバスやタクシーが走っており、カフェが50箇所もあるというその広さと充実ぶりに感動し、週に2回開講されるプレゼンテーションの授業を受けることに決め、金曜日を除く週に4回学校に通っています。

Design Portfolio では自分のキャリアに役立つポートフォリオの作成方法を学びます。9月の授業では参考となるポートフォリオを探し共有したり、自身の経歴について振り返り、行きたい分野に提出するためのCVを作成しました。10月は先生との面談を通して選定した方向性でポートフォリオの作成を進めます。

Advanced English Presentation では効果的なプレゼンテーションの手法を学びます。9月はIntroductionやconclusionで使われる基本的な表現方法や手法を学び、informative speechを通してそれを実践しました。私は[北海道旅行の心得]についてプレゼンしました。人前で英語で話すことにまだあまり慣れておらずかなり噛んでしまい、いいプレゼンだったとは言えないと思います。次のプレゼンではもっと自信を持って話したいと思います。

Design Thinking はレクチャーベースで行われ、少人数で留学生が多い授業なので和気藹々とした雰囲気です。9月はproject1として[what I cherish]についてのレポートを作成しました。私はここでも地元の札幌をテーマに選びました。札幌が自分の人生に与える影響について考えるいい機会となりました。10月から始まったproject2では、ポートフォリオに載せるUI/UXの作品のクオリティを高めます。新しくデザインするカリデザインかを選択でき、私は学部3年の時に千葉大学の授業で作成した作品のリデザインを10、11月を通して行うことになりました。

デザインの2つの授業では、自身の将来について考えさせられる機会がとて多く、いずれやらなければならないことなのでありがたい気持ちです。

ソウル大学の学生は英語が得意な生徒が多く、韓国で一番レベルが高い大学ということ

で授業の難易度も高く進捗も早いので授業にはなんとかついていけているという感じです。日々、継続して英語を学ぶ必要があると改めて感じさせられます。先述した通り大学がとても広く坂が多いので何度道に迷い山道を歩かされたことかという感じです。

生活面では、やっと慣れてきました。韓国に来るのは今回が3回目なので、食料調達や想像とのギャップに苦しむことは今のところないです。

最初は友達ができるかかなり不安でしたが、ソウル大学のバディプログラムはとても素晴らしく、正直これだけでソウル大学を留学先にお勧めしたいと思います。ソウル大学のバディプログラムは大学のサークルのような感じで、韓国人バディが90人ほどおり、3~5人の留学生につき1人パーソナルバディがいます。留学生は全体で約400人ほどが参加しており、全体ではとても大きな集団だと言えます。そのため、そのバディの中でも10のグループに分かれており、普段は各グループで集まります。Group lunchでは週に1回大学内でランチをし、group dinnerは大学の近くのレストランで夜ご飯を食べます。そのあとはバディ全体でパブに行くweekly pubというイベントがあり、他のグループの人と出会う機会があります。週末にはソウル市内や近郊にグループで出かけます。これまで청와대というブルーハウスや漢江ピクニック、遊園地に出かけました。自分から出かける機会を作らずともソウルでの主要な遊びの体験を提供してくれてとてもありがたいですし、充実した日々を送っています。私が所属するグループ1には明るい人が多く、そこでたくさんの友達ができました。

家での生活についてです。他の留学生は寮や大学の最寄りの駅に住んでいますが、私の家はシェアハウスで、その最寄り駅から3駅、大学から1時間ほどかかる場所にあり、最初は「もっと大学の近くでいい場所があったかもしれない」と思っていたのですが、住んでいる人がアメリカの人1人を除いて全員韓国人なので、韓国語を話すいい機会となっており、高速ターミナルやカンナムなど、ソウルの買い物スポットやよく利用する駅とも近いので今ではとても気に入っています。後から知りましたが、서래마을という韓国の高級住宅街の一つらしく、家には警備員さんもおり夜遅くなっても安心して生活できています。隣の部屋のお姉さんがとても優しく、一緒にご飯に行ったり車でお姉さんが働くカフェへ連れて行ってもらい喫煙所の案内ボードを書かせてもらいました。まだ拙い韓国語の私にとっても優しくしてくれるのがありがたいです。

韓国で一番レベルが高い大学で学んでいることをとても誇りに思いますし、これまでのところ大きなトラブルはなく(遊園地でスマホを落として壊れたので2万円かけて修理したこと以外)充実した日々を送っています。



履修科目や近況について（10月）

ポートフォリオの授業では、ポートフォリオの作り方や、学生たちのポートフォリオでどんな点を見るのかを自分が気になるデザイナーにインタビューするように言われました。そこでインタビューしたいと思うデザイナーを選び、その人たちについての基本情報をまとめました。質問の内容が決定したら、アポをとって実際にインタビューする予定です。ソウル大学の授業は千葉大学のようにターム制ではなくセメスター制なので、比較的ゆったりと授業が進んでいる印象があります。そのため授業の中で、レクチャー以外にも様々なことをやっています。実際にポートフォリオの授業では、学校から1時間ほどの場所にある聖水という場所にあるデザインスタジオを訪れたり、2週に渡り別のデザインスタジオとWSを行ったりしました。WSは、自分のポートフォリオの表紙を匿名で作成し、それを他の学生間で回しながらその表紙にあう作品を追加していき、最終的に自分の表紙が他の人にどんな印象を与えるのかを確認するというものでした。自分が意図していた方向性の作品もあれば、自分のスタイルではない作品が追加されたりして自分のポートフォリオの表紙について確認できるのが面白かったです。



Design Thinking の授業では、昨年千葉大学のデザインの授業で取り組んだ友人へのギフトサービスのリデザインを行っています。使用するカラーの再検討を行い、サービスフローやジャーニーマップ、ビジネスモデルを再検討しました。再検討したユーザフローに基づき、プロトタイプを再作成します。

Presentation の授業では、プレゼンテーションで使われる効果的な言葉の技法を学びました。いくつかのプレゼンテーションを見ながら、比喩や頭韻法が効果的に使われていることの確認や、9月に学習した informative speech の振り返りを行いました。

生活面では、相変わらず buddy プログラムのおかげで充実した生活を送っています。中間考査があったこともあり、9月よりも参加人数が少なかったですが、脱出ゲームをしたり、学校にある冠岳山という山でハイキングをしたりしました。また、景福宮で漢服を着たりしました。脱出ゲームは英語でやるのが何より難しかったですが、多少なりとも貢献できたと思います。時計の数字で鍵を開ける必要があったのですが、3時47分を指していた時計で、0347では開かず、私が1547と言ってみたら開きました。他の国では

あまりこのような時計の読み方をしないので、日本人で良かったと思えた瞬間でした。ハイキングはかなり道が急で長かったですが、ソウルは坂が多く、家に行くにも教室に行くにも坂を登らなければいけないので、知



らぬ間に体力がついていたらしく、意外と余裕でした。また、渡韓3回目にして初めて景福宮で漢服を着増田。韓国旅行の定番の1つなのでいつかやってみたいと思っていましたが、それが叶って嬉しかったです。

また、プライベートでは友人とドローンショーを見に行きました。ドローンショーは、漢江沿いで行われ、花火のようにたくさんの人が訪れていました。コンビニでラーメンを買って作って外で食べる漢江ラーメンも初めてやりました。

また、別の日はハンナムドンのヘボンジョンという場所に行きました。これまで韓国のお気に入りの場所はイクソンドンだと話していましたが、このヘボンジョンは周りにビルが少なく、ソウルでありながら落ち着いており、ルーフトップのカフェからは韓国のシンボルマークの一つである南山タワーを見られるところがとても気に入りました。またやはりソウルにいと漢江を見る機会がとても多く、色々な漢江公園があるのも東京にはない雰囲気好きです。留学終わるまでにお気に入りの漢江公園を見つきたいです。

韓国でおすすめの観光スポットはどこかと聞かれたら迷いなくヘボンジョンと漢江だと答えます。

また、絶対やってみたかった制服を着てロッテワールドに行くという夢も叶いました。制服選びに時間がかかりすぎて、ご飯を食べて写真をとるために並んでいたらアトラクションに1つしか乗れませんでした。制服を着て写真を撮るというウィッシュリストは叶ったので良かったと思います。次回はもう少したくさんのアトラクションに乗りたいです。

私は kpop が好きなこともあり韓国留学を決めました。推しが最近新曲を出し、ポップアップを行っていたのでそれに行きました。日本ではやってないものなので韓国にいる間に全力で推し活を楽しみたいと思います。

また、先日ショッピングをした際に時間が余ったので友人と「君たちはどう生きるか」を見てきました。公開から4日だったのと日曜日だったこともあり、たくさんの人が訪れており席はほぼ満席でした。自国の映画を外国で見るのはなんだか不思議な感じがしましたが、多くの方がジブリの映画を見に来ているのをなんだか嬉しく感じました。ですが終わった後は友人も他の人も本当にわからなかったと言っていました。その日はシェアハウスに住んでいる人たちともジブリの話をしたばかりでした。韓国ではもののけ姫のアシタカ、千と千尋のハク、ハウルの3人でどの人がタイプかという議論がたびたび上がります。その日もその話で盛り上がり、ジブリの人気ぶりを感じました。日本とは違



い netflix でジブリが見られるということもあり、たまに私が見たことのないものや日本ではあまり馴染みのないジブリ作品が好きだという韓国人も多いです。

シェアハウスの人達と話すことで、韓国語が上達してきたと思います。先日は両親から日本の荷物が届き、その中に福島の親戚が作っている日本酒が入っていたので、お酒好きの隣の部屋のお姉さんたちと日本酒飲み会をしました。その際に、北海道限定のやき弁のたらこバター味も一緒に作ってみました。韓国人の口に合うかわかりませんが、美味しいと言っていて意外でした。

11月から冬が始まりとても寒くなるので、体調に気をつけながら残り2ヶ月の学校生活を楽しまたいと思います。



海外派遣留学プログラム 留学中報告書

所属：融合理工学府

学年：1年

留学先大学：ケルン応用科学大学 (KISD)

現在の学期：Summer Semester

時間割：

曜日	履修科目名・時間等
月	
火	10:00-13:00 Material Type
水	11:00-13:00 The devil is in the detail, 13:00-15:00 Desktop Video for International Students
木	8:30-13:00 Gute Stube, 14:00-17:00 Material Type
金	
土・日	

履修科目や近況について

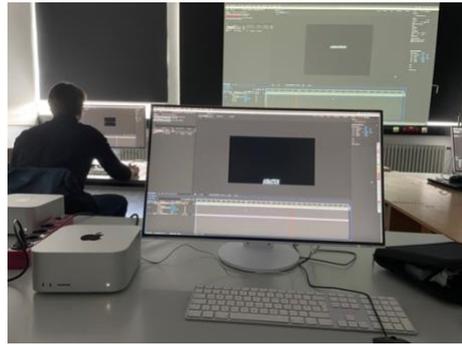
まず KISD の履修登録法が少し難しく早い者勝ちではないと言われていたのに、結局少し申請した順番が影響しており、留学生の子たちの中でも人気の授業は取れていない子が多かったです。私は早めに取りたい授業を決めておき履修登録が始まってからすぐに登録したので、全ての授業を希望通りに履修することができ運が良かったです。特に「Material Type」と「The devil is in the detail」は特に人気の授業で、定員より 20 人近く多くの学生が履修を希望していました。

Material Type は「1. 紙もしくはテープ」「2. 液体が個体に変化する材料」「3. 光」「4. 自分で見つけた素材」の 4 つのテーマから 3 つを選んでタイポグラフィを作る授業でした。私は 1.テープ・2.コーヒー・4.砂鉄を使って文字を作りました。特にコーヒーのアイデアは多くの人に面白いと言ってもらえ、自分でも納得するくらいのクオリティを出すことができました。最終プレゼンではポスターとブックレットを作って展示しました。プレゼンでビールなどのお酒を飲みながら展示会形式で発表したのがドイツならではの感じました。次のセメスターからはサービスデザインのプロジェクトをとるのでそちらも楽しみです。



The devil is in the detail は KISD でも人気のセミナーで、普段生きている中では気にしないようなものやコトの細部に目を向けて議論する授業です。第一回目ではフォントの細部に注目し、それ以降は絵画・建物・ブランドなどの細部に注目し議論しています。セミナー内の時間よりも宿題にかける時間が長いように組まれており、個人ベースで授業が進んでいきます。この授業を取り出してから、美術館に行くと絵画や石像の細部まで注目してみるようになり、新しい発見も多く今まで以上に美術館に行くのが好きになりました。

Desktop Video では After effects の使い方を学びます。もともとサークルでこのソフトを使う機会が多かったのですが、独学では学べないようなショートカットや便利な機能を知れるのが面白いです。最終的には自分で一つアニメーションを作成しますが、今はまだ基本的な使い方やエフェクトの付け方を学んでいます。(授業の様子)



Gute Stube は KISD 内にあるカフェで働き、お金の代わりに単位をもらうという KISD で開講される Group Working という活動の一つです。私は木曜の朝に働いているのですが、お客さんも皆 KISD の学生や先生なので、話をしながら楽しく働いています。もともと帰国したらカフェでバイトしてみたいと思っていたので、本格的にバイトをする前にコーヒーマシーンやミルクのステームに慣れる機会が作れて嬉しいです。



また、月に一回 Mentoring という学生が教授に対して学校の体制などに「文句を言う時間」と言うのがあります。すごく面白いので日本でもあればいいのと思うのですが、日本人はこのような機会があっても何も言わない学生が多いだろうと感じました。

続いて生活面です。ドイツは韓国や日本と文化が違う部分が多く「本格的に海外で留学している」と思われることの連続です。韓国は留学前に2回訪れたことがあるということもあり、なんとと言っても隣国なので日本と似ている部分が多く生活面で戸惑うことがほぼありませんでした。ですがドイツは改札が無いので電車のチケットの買い方がわからない・エレベーターに閉じるボタンが無い、などと違う部分が多くあり初日からかなり不安になりました。また、チケットを買うオンラインサイトで私の日本のカードが使えなかったり、ストライキの影響で片道 30 ユーロをタクシーで使ったりと現金を使う部分が多く家も決まっていなかったのが最初の1週間はお金が足りるかもとても不安でした。前述したように入国前に家が決まらなかったのが、ドイツについて1週間は家探しをしていました。Facebook を中心に家探しをしていましたが詐欺も多く中々いい家が見つからず苦戦しました。ドイツ入国前から連絡をもらっていた家があり、家の周りに何もなくてドイツ人の友人にもあまり安全とは言えない場所だと言われて不安だったのですが、直接行ってみるとオーナーさんも優しく思ったより良かったので他にいいところが無ければそこに入居しようとしていました。サインしに行こうとしていた前日に、Whatsapp で連絡を取っていた同学期から留学する韓国人の女の子から「ドイツに住む韓国人向けのサイトで2人向けのアパートを見つけた」と連絡をもらいました。その子がまだドイツ入国前だったので私が直接見に行くことになりました。大学からは 40 分ほどと遠いのですが、もう一つの候補とは反対側に位置しており、大人や家族が住んでいる住宅街で家の隣に大きなショッピングモールがありとても安全そうで利便性も高かったのがそこに入居することに決めました。オーナーが韓国の方なので、冷蔵庫が2つありテレビも大きく韓国に住んでいるかのような気分です。私が入居した4日後にルームメイトが入居し、その時初めて会いました。年齢も一緒に身長も一緒に、なんだか不思議なくらい似ている部分が多くすぐに仲良くなることができました。一緒に韓国料理を食べたり日本料理を食べたりしながら楽しく過ごしています。会話する時は基本韓国語なので、実用的な韓国

語の実力がさらに伸びました。5月24日にルームメイトの誕生日だったので家に友達を呼んでパーティしました。料理したりサプライズでケーキを用意したりして友達を祝うことに久々に全力を注いで楽しかったです。余談ですが、ヨーロッパやアメリカでは誕生日の本人が誕生日パーティを企画する文化であることが日本と韓国の違いだと思います。韓国留学中に驚いたのですが、この違いは留学中に見つけた面白い違いの一つだと感じています。

また、ケルンでは多くの日本人と出会いました。ケルン大学に通う日本人の方と留学生のパーティで出会う機会があり、日本人と日本語を学ぶドイツの交流会があることを教えてもらい参加してきました。韓国に住んでいた時は小学校の友達が韓国に元から住んでいたり、ソウル大のバディプログラムの他のグループに日本人の子がいたり日本人と会い日本語で話す機会が多かったのですが、今考えるとそれがストレスをかなり軽減させてくれたと気づきました。日本人の友達を家に呼んでご飯を食べたりしてたまに日本語で喋り倒すことで頭がスッキリします。ドイツという遠い国で日本人と会えるというのはなんだか強い安心感がある気がします。

また、ドイツの留學生活のとてもありがたい部分の1つが学生はローカルトレインなら交通費が無料ということです。留學前に大学に4万円ほど支払ったのですが、そのほとんどがセメスターチケットと呼ばれるチケットに使われているとのこと。そのチケットを持っていればドイツ国内のローカル列車は全て無料で乗車することができます。無料ということで6時間ほどかけて北ドイツのハンブルクも訪れました。交通費が無料であれば学生は遠くに出て様々な体験ができるのでとてもいい仕組みだと思います。韓国も交通費が安かったので、日本の高い交通費に今から怯えています。

アジア圏とヨーロッパ圏の2カ国を留學に選んでよかったと思っています。それぞれの違いを観られるのも面白いし、韓国が最初だったことで少しずつ英語や留學自体に慣れることができたのかなと思います。今ではどんな人とも英語で話すことに躊躇が無くコミュニケーションを取るのがとても楽しいです。また、ソウル大にはドイツからの留學生が多かったので、ドイツで3人の友達に再会することができました。ドライブしたり家でBBQしたり、普通に留學しているだけでは中々体験できない経験を韓国留學のおかげで体験できていると感じていま



す。

9ヶ月目になった留学生活も帰国日まで残り3ヶ月を切りました。体調に気をつけながら1日1日を大切に無駄にしないように楽しみたいと思います。